



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？  
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください  
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)

ホルノグラフィー  
滋賀大学経済学部



▲講演する永田さん

### 「関心を持ち続けることが大切では」

北川重和さん（松原二丁目）

市が開催している「彦根市男女共同参画セミナー」の1回目、滋賀大学経済学部助教授永田えり子さんの講演「ホルノグラフィーについて」に参加しました。

市などが無料で開く講座などにも、関心をひくものが増えたので、目にとまったものはできるだけ参加するようにしています。昨年は、滋賀大学経済学部の公開講座を受講しました。10人ほどの参加者とともにリラックスした雰囲気の中で永田先生の話を聞き、男女共同参画に関心を持つようになりました。

今回のセミナーでは、「ホルノグラフィー」を「女性の性的イメージや身体の強調」として、ポスターや広告な

どに意味なく登場する水着姿の女性などを問題にしてみました。なるほど、公共の場にもあまりに氾濫（はんらん）して先生が女性の立場から問題にするのも理解できます。ただ、健康的なイメージまでもすべて否定してしまうと納得できない人もいるのではないのでしょうか。

男女共同参画については、いろんな人の、いろんな思いがあるでしょう。「男女雇用機会均等法」は、事業者に意識改革を迫るものですが、現代は、個人一人ひとりに変わることを求めているようになったと思います。子どものしつけから変えなくてはならないようにも思いますが、時間がかかっても、それぞれが関心を持ち続けることが大切だと感じます。

北川さん

### 「みんなの心が伝わり、うれしく思います」

彦根市PTA連絡協議会結成50周年記念事業実行委員会委員長 西村 昭さん（古沢町）

彦根市PTA連絡協議会は、結成50周年を迎えました。さまざまな記念事業を企画する中で、会員みんなが協力して取り組めるものを、という思いから、文房具を集めて彦根市の友好都市・中国湖南省湘潭市の小学校へ寄付することを考えました。

小学校、中学校、幼稚園の各単位PTAに協力を求めると、おおぜいの会員から積極的な協力が得られました。集まった鉛筆や消しゴム、ノートなどを30kgずつ段ボールに入れると、10箱になりました。10月に湘潭市を訪れた彦根市友好使節団に目録とメッセージを託し、湘潭市教育局に渡していただきました。湘潭市では、山間部の農村にある白石小学

校、高橋小学校、湘江小学校の3校の子どもたち

に配っていただきました。

今年になって、文房具を受け取った子どもたちやその先生から、お礼の手紙や文房具を渡す様子の写真が届きました。写真の子どもたちはみんな本当にうれしそうで、かわった者としても報われた思いでした。

写真と日本語に訳した手紙は、1月25日に開催された50周年記念大会の会場で掲示しました。また、3月3日(月)からは、市役所のロビーでも展示する予定です。協力していただいた皆さんと、いっしょに喜びたいと思います。

西村さん ▶



▼文房具を受け取って喜ぶ白石小学校の子どもたち

